



▲甲斐町長から感謝状を受け取った(株)ウエダホームの松本社長(左)

## 寄付企業に感謝状を贈呈 企業版ふるさと納税制度

企業版ふるさと納税制度を利用して本町に寄附いただいた(株)ウエダホーム(松本康男社長)に感謝状が贈呈されました。同社とは、西寒野の野球の屋内練習場などの利活用について、今年3月に包括連携協定を締結。感謝状贈呈式で、松本社長は「わが社の強みである建設や不動産業を軸に協力し、これからも甲佐町の発展のために力を尽くしたい」と話しました。



▲東京甲佐会総会・懇親会であいさつをする甲斐町長

## 甲佐出身者が集い故郷を思う 第30回東京甲佐会総会および懇親会

4月25日(土)東京都で第30回東京甲佐会総会および懇親会が開催されました。

同会(岩本憲章会長)は主に首都圏在住の本町出身者などで構成され、会員相互の親睦と故郷である本町との交流や情報交換などを目的に平成6年に設立。総会では、本町にゆかりのある方々が出席し、故郷への思いを馳せつつ、交流を図りました。



▲環境整備功労知事表彰を授賞した井芹智典さん(写真右)

## 環境整備での功績を表彰 (株)井芹美化センター 井芹智典さん

浄化槽や廃棄物処理関係など環境整備の分野で、その功績が顕著である方を表彰する「熊本県環境整備功労者知事表彰」に井芹智典さん(上豊内区)が表彰されました。2月9日(月)県庁で行われた表彰式で、亀崎副県知事から表彰状を受け取った井芹さんは、「私たちの業務が社会や皆さんに貢献できたということであればうれしく思います」と述べました。



▲堤防ののり面を守る「木流し工法」を訓練する本町水防団員

## 水防への備えを万全に 令和8年度緑川水防演習

5月10日(日)御船町で緑川水防演習が行われました。出水期を前に水防対策の強化を図り、被害を最小限に抑えるために、緑川流域の市町などが参加する緑川水防演習協議会が主催。各自治体の水防団員や県、国土交通省や陸上自衛隊が協力して毎年実施しています。団員は、土のうを積む訓練などを通じて災害発生時の情報伝達や対応手順などを確認しました。



▲町内の集積場で回収されたごみを仕分けする甲佐中の生徒たち

## きれいな川を保つために 「緑川の日2026」一斉清掃

4月29日（水）、本町を流れる1級河川「緑川」で、流域住民や企業が参加して河川や周辺の一斉清掃を実施しました。本町では、家族連れなど1,353人が参加し、ペットボトルやプラスチック容器などのごみを拾い、美化活動に汗を流しました。回収したごみは、中甲橋グリーンパークに集められ、甲佐中学生や町内企業のボランティアにより分別されました。



▲「大きくなあれ」と声をかけながら稚アユを放流する児童たち

## 稚アユたち大きくなあれ 甲佐小児童が稚アユの放流体験

4月30日（木）中甲橋グリーンパークで、甲佐小学校（森川宏子校長）3年生32人が稚アユの放流を体験しました。サントリー九州熊本工場（嘉島町）が環境保全活動や水質資源保護の一環として、子どもたちに水環境の大切さを伝えるために2005年から実施。児童たちは緑川漁業協同組合の協力のもと、体長7～8センチ程の稚アユ約1万7千匹を緑川に放流しました。



▲「めぶかすマルシェ」にならぶ体験や駄菓子の販売ブース（上）ハンドメイドのキーホルダーづくりに挑戦する来場者（下）

## 地域で楽しむミニマルシェ 町地域おこし協力隊が開催

4月18日（土）と5月16日（土）、町起業等応援施設「MEBKAS」で、「めぶかすマルシェ」が開催されました。地域交流と町の活性化を目的として町地域おこし協力隊が主催で開催。ハンドマッサージやアクセサリーづくりの体験コーナーや甲佐高校「あゆみ学舎」による駄菓子の販売、ホットドッグなどの飲食の出店も並び、会場は多くの来場者でにぎわいました。



▲地域おこし協力隊が行うハンドマッサージ体験でリフレッシュする来場者（左）「あゆみ学舎」のブースで綿あめづくりを体験する来場者（右）